

# 立正大学心理学部

## 平成16年度公開講座

— 現代人のこころの問題を考える —

第1回

### 選択理論で育む満足した男女関係

- 10月28日(木)午後6時30分～(開場 午後6時)  
於 石橋湛山記念講堂
- 講師:ウィリアム・グラッサー博士  
米国精神科医師

第2回

### 現代家族のコミュニケーションとその課題

- 11月6日(土)午後1時30分～  
於 5号館 551教室
- 講師:若島 孔文(わかしま こうぶん)  
立正大学心理学部講師(臨床心理士)

第3回

### 子どものこころ・大人のこころ

- 11月13日(土) 午後1時30分～  
於 5号館 551教室
- 講師:岩本 俊郎(いわもと としろう)  
立正大学心理学部教授

**募集要項** ■開催日/10月28日(木)・11月6日(土)・11月13日(土) ■会場/立正大学大崎校舎(大崎4-2-16)  
■対象/18歳以上の方 ■定員/100名(定員を超えた場合は抽選) ■受講料/無料 ■託児あり(3歳児以上)無料  
■申込方法/往復はがきに講座名「立正大学心理学部公開講座」住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・連絡先電話番号・  
託児希望(お子様の氏名(ふりがな)・年齢・性別)を記入の上、品川区教育委員会 生涯学習課までお申込みください。  
■申込期間/平成16年9月11日(土)～10月8日(金)必着 ■問合せ先/品川区教育委員会 生涯学習課 学習推進係  
〒140-6715 品川区広町 2-1-36 TEL. 03-5742-6637



# 現代人の こころの問題を考える

立正大学に心理学部が開設されて、3年目を迎えました。社会のニーズに応える学部として教職員も学生も切磋琢磨しています。今年で第2回目の公開講座で、皆様と一緒にこころの問題を考えてみたいと思います。出生率の低下は予想以上となり、背後にある男女のこころの動きに注目せざるを得ません。教育現場では世の中を驚かせる事件は後を絶ちません。子どもたちのこころの動きは、どうなっているのでしょうか。社会の最小単位である家族のこころは、今どようになっているのでしょうか。人の幸せは人間関係抜きでは考えられません。良好な人間関係を持つためには、こころの問題を素通りできません。と一緒に現代人のこころの問題を考えてみませんか。

## 第1回

### 選択理論で育む満足した男女関係

10月28日(木) 午後6時30分～

於 石橋湛山記念講堂  
ウィリアム・グラッサー博士

国が豊かになるにつれて、世界中で起こる共通した現象がある。婚姻数の減少と少子化だ。なかでも日本は他に類をみないほど顕著だ。これはひとえに男女の性関係が満足しなくなっていることを示唆している。日本では男性よりも特に女性のほうが結婚関係に消極的と言えよう。「女性は家庭を守り、子育てをする」という伝統的な主婦像はもはや受け入れられない。それよりも夫が仕事を終えて早く家に帰り、子どもと関わってくれることを望んでいる。そうすれば子どもの世話をしてもらえただけではなく、子どもは父親をもっと知ることになり、その間女性はときに自由な時間を持つことになる。男性が女性をコントロールするという伝統的な役割は、女性が好むものではなかったし、これからも好まれない。グラッサー博士は選択理論による結婚、子育てがその良き答えであると主張する。日本はこれまで上質な商品を創造し、人々が取得できる価格内で提供してきた世界のリーダーであった。日本は上質な人間関係でもリーダーになれる。グラッサー博士の提唱する選択理論を実践するときに、日本の男女は結婚関係を充実させ、社会的にも性的にもお互いをもっと楽しめるようになるであろう。



#### プロフィール

米国精神科医師。現実療法、選択理論心理学の提唱者。教育で「上質」を追求する改革を試み「クオリティ・スクール」を出現させている。著書としては、「現実療法」「クオリティ・スクール」「グラッサー博士の選択理論」「結婚のミステリー(謎)」(アチーブメント出版)等多数。グラッサー博士のアイデアは文化を超えて全世界に広まっている。アメリカ・カウンセリング学会(ACA)よりProfessional Development Award(2003年)、Legend in Counseling Award(2004年)を受賞。



#### 通訳者プロフィール

心理学部教授 柿谷 正期(かきたに まさき)

日本選択理論心理学会会長  
グラッサー博士の著書を一手に引き受け翻訳してきた。「クオリティ・スクール」「あなたの子どもが学校生活で必ず成功する法」「ハッピー・ティーンエイジャー」「グラッサー博士の選択理論」「結婚のミステリー(謎)」「15人が選んだ幸せの道」等。日本での選択理論、現実療法に関しては第一人者として知られている。

## 第2回

### 現代家族のコミュニケーションとその課題

11月6日(土) 午後1時30分～

於 5号館551教室

心理学部講師(臨床心理士) 若島 孔文(わかしま こうぶん)

近年、様々な青少年の問題が噴出していることはご存知のとおりです。こうした青少年の問題を「家族のコミュニケーション」という視点から考えて行きたいと思います。家族療法を実践し、多くの家族と「問題」をはさんで面接していく中でいくつかのことを学ぶことができました。家族に必要なことは決して複雑で難しいことではないように思われます。単純なことかもしれません。そしてそれは動物とのコミュニケーションから学ぶことができることかもしれません。青少年の問題、家族コミュニケーション、そして動物とのコミュニケーションを結び、話をさせていただきます。



#### プロフィール

●研究テーマ/家族療法、プリーフセラピー、犯罪被害者支援、不登校・引きこもり、笑いとユーモア、コミュニケーション理論●学会活動・社会的活動/MCR不登校・引きこもり研究所理事長、日本家族心理学会理事ほか●最近の研究成果/よくわかる!短期療法ガイドブック(金剛出版・共著)、学校臨床ヒント集(金剛出版・編著)、リーダー事始め(ぎょうせい・単著)ほか翻訳・論文多数。

## 第3回

### 子どものこころ・大人のこころ

11月13日(土) 午後1時30分～

於 5号館551教室

心理学部教授 岩本 俊郎(いわもと としろう)

こんにち、大人の間でよく聞かれることのひとつに「子どものことがわからなくなった」ということがあります。衝撃的事件を含めてマス・メディアにぎわす子どもの行動は、私たち大人の想像を超えているとも言われます。

しかし、私たち大人は子どもについてなにを想像し、想定しているのでしょうか。意外、子どもの側からすれば、自分たちの行動や発言は大人の想像を越えているものではないと考えているのかも知れません。

子どもの権利の宣言者として知られるJ.J.ルソーが「人は子どものことを知らない」と言ったのは、18世紀後半のことでした。21世紀の私たちもまた、そのような指摘を受けることになるのでしょうか。子どももまた大人と共に現代人の仲間です。大人と子どものこころの問題を考えてみたいと思います。



#### プロフィール

●研究テーマ/子どもの発達と教育にかかわる歴史的研究●学会活動・社会的活動/日本教育学会、教育史学会●最近の研究成果/子どもの発達を考える(亜紀書房・共著)、教育学への道(文化書房博文社・単著)、教育実習を考える(北樹出版・共編)